



【田打ち】暴れ回る牛を捕まえる様子

いちき串木野市にある羽島崎神社で春の大祭として毎年行われる「太郎太郎祭」。地域の5歳になる男子たちが行う神事として旧暦2月4日（現在は直近の日曜日）に行われます。

もともとは別の神事だった漁業集落の豊漁を願う「船持ち」と農業集落の豊作を願う「田おこし」が、一つの祭りの中で一緒に行われるようになりました。

「船持ち」は太鼓の音を合図に、長老を先頭に大人（介添人）が船歌を歌う中、頬被りに緑の袴はかまをかけた5歳の男子が数人で模型の船を持ちながら豊漁を願い、境内を練り歩きます。



【船持ち】神殿から下ろした10隻ほどの模造船が、介添人と5歳児に渡されます。

「田打ち」は境内を田んぼに見立て、テチヨ（父親役）と太郎（子ども役）と一緒に田を耕す様子が演じられます。作業で連れてきた牛が途中で逃げてしまい、親子で暴れ回る牛を何とか捕まえ、無事に耕し終える様子がとてもユーモラスです。

豊漁豊作を同時に祈願する伝統行事は県内でも珍しく、県の無形民俗文化財に指定されています。

豊漁や五穀豊穡を祈る
ユーモラスな春の大祭



【いちき串木野市】

県指定無形民俗文化財
太郎太郎祭まつり

豊漁や豊作を祈る
羽島崎神社の伝統行事
「太郎太郎祭」を
ご紹介します。

祭りの舞台

はしまぎき 羽島崎神社

開催日：平成31年3月10日（日）
午後2時から開始（雨天決行）

住所：いちき串木野市羽島5944

駐車場：臨時駐車場有（50台：無料）

T E L：0996-21-5113（いちき串木野市社会教育課）

